

ヤナギムシガレイ天然魚の採集について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 村上, 恵祐, 西岡, 豊弘, 友田, 努 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014441

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ヤナギムシガレイ天然魚の採集について

村上恵祐・西岡豊弘・友田 努

ヤナギムシガレイの天然魚を人工飼育した例は極めて少なく、長期間生存した飼育例はない。1984～1993年に天然魚を計58回採捕し、1,528尾を飼育した。1992以前では、1年以上生残したのは僅か2尾であった。1993年に漁船に乗船し、本種が魚網や混獲物とのスレに極端に弱いことを考慮して採捕を行った。曳網時間をやや短くし、揚網時間をやや長くして天然魚を採捕することで、5尾が1カ月以上生残した。このうち3尾が、採捕から約15カ月後の1994年8月末現在も生残している。この際の平均曳網時間は50.3分、平均曳網距離は2.3km、平均揚網時間は17.1分であった。

栽培技研, 23(2), 141-144, 1995